

『ひと、自然、産業が融合した市民協働のまち“おおだて”をめざして…

21世紀の大館市総合計画

21世紀の大館市総合計画が、今年四月からスタートします。計画は、十年間のまちづくりの方向を示した基本構想と五年間の具体的な事業計画を定めた前期基本計画からなり、市民懇談会やアンケートなどを通し市民の皆さんとの声を反映した内容となっています。今回はこの計画の概要をご紹介します。



21世紀の大館市総合計画って どんなものですか？

市政を運営するための総合的、長期的な方針を示したもので、市民の皆さんと協力しあいながら、ゆとりと豊かさを実感できる地域社会の実現に向けて取り組んでいきます。

どんな姿をめざしていくのですか？

下に掲げた五つの目標（都市像）の実現を目指し、少子化、高齢社会への対応や循環型産業の確立など、地域が抱える

農林業の経営基盤が充実し、自立した農林業都市

- ・農業の担い手確保、農業経営の法人化、生産基盤の整備
- ・造林・保育、林道整備による森林の公益的機能の充実
- ・乾燥秋田杉のブランド化
- ・林業後継者の確保、若手林業技術者の育成 など

生涯にわたり、多様な教育が受けられる教育文化都市

- ・子どもたちの学力向上と豊かな人間性、たくましい実践力を育む学校教育の充実
- ・市民の学習ニーズにこたえるための施設整備、学習活動の支援、学習内容の充実
- ・多くの市民が芸術に親しめる環境づくり
- ・スポーツ・レクリエーション活動の普及
- ・コミュニティ活動の促進 など

ゆとりと豊かさを実感できる 地域社会を実現するための5つの目標